

さんぎょう れきしえいどう じょうえい  
「産業・歴史映像ビデオ」上映リスト

毎週土曜日 3時・上映

4月	『ニッポン近代化遺産への旅』 横須賀の歴史遺産も登場します(全62分)
5月	『明治建築をつくった人びと』 テレビよくみる「日銀本店」も登場(全54分)
6月	『京都を救った人工の川 — 琵琶湖疏水』 この人工の川は若き青年の努力による高度な土木技術で造られました。(約30分)
7月 8月	夏休み特集 ① 『水とたたかった戦国の武将たち』 (約20分) ヴェルニー記念館にも置いてある「土木の絵本」シリーズのビデオ版です。 ② 『おやとい外国人とよばれた人たち』 (約20分) 明治時代に鉄道をつくりにきた外国人を中心に紹介した番組です。
9月	『日本の鉄道とトンネルー 笹子と関門から』 今は廃線となった碓氷峠に残るれんがの巨大な橋やトンネル。険しい山に鉄道を通すために、ここには高度な技術を用いた多くの巨大な建造物が築かれました。(約30分)
10月	『それは歓喜坑から始まったー 別子銅山』 日本最大の銅山「別子銅山」の発見者は、喜びのあまり歓喜の声をあげたと伝えられ、そこは「歓喜坑」と呼ばれるようになりました。(約30分)
11月	『鉄は国家なりー「産業の母」としての100年史』 日本における近代的製鉄技術の100年の歴史を紹介している番組です。(約30分)
12月	『黒ダイヤとよばれてー 三井三池と筑豊の盛衰』 福岡県大牟田市にあった三井三池炭坑。そこには、数多くの歴史遺産があり、石炭採掘のために努力してきた人々の歴史が刻まれています。(約30分)
1月	『製糸家の湯一片倉館と富岡製糸場』 明治時代になって、日本は生糸の輸出によって経済発展を続けるようになりました。近代的な製糸の技術は、国が群馬県に造った「富岡製糸場」に始まります。その建設には、横須賀にいた優秀な技術者が参加していました。(約30分)
2月	『日本の近代土木を築いた人々』(第75回キネマ旬報文化映画部門第1位選出) 近代土木技術を築き上げた人々と土木構造物を社会背景を交えて紹介した作品です。(約58分)
3月	『福沢桃介ー 木曾川水系電源開発』 木曾川の流れを利用した37ヶ所もの水力発電所群。しかし、その建設は危険を極め、山林で木材を育てて生活を営む人々の強い反対にあい、苦難の連続でした。(約30分)

【毎週土曜日の3時にヴェルニー記念館にて上映。参加自由。】